

雫石町コミュニティ・スクール通信

雫石町教育委員会 令和4年10月27日発行

雫石小学校4年生総合「雫石の昔、今、未来」の学習 地域の「お宝」を探し、地域の新たな魅力を知る

10月7日（金）および10月11日（火）、雫石小学校4年生33名が地域点検を行いました。学校周辺の地域を点検しながら「地域のお宝」を探し、自分たちだけのガイドマップを作成します。

10/7 《よしゃれ通り方面》



この辺は昔大火事で焼けたんだよ！



長坂商店

黒電話ってどうやってかけるの？

3人の保護者の方と8人の役場職員が、子どもたちの見守りや訪問先との調整役として参加しました。参加した保護者は、教室で行われる授業参観とは違う「校外学習の様子」を知る機会となりました。

大定商店の大和恵子さんからは「東日本大震災の時、どこのスーパーにも商品がなかったけれど、市場との信頼関係があったからうちには商品が入ってきてお客さんに届けることができた」と、貴重なお話を聞くことが出来ました。永昌寺(下寺)の藤本住職からは、幽霊の話や雫石の大火の話、人は何のために勉強をするのかという深い話までお話しいただきました。



山定商店は何年前からやっていますか？

人の役に立てるために勉強してね



永昌寺

11日は「役場方面」の探索をしました。牛を育てている方にお話を聞いたり、雫石町ならではのマンホールなど、児童たちがお宝と思うものを写真に収めて歩きました。地域の方たちは、児童たちの突然の訪問にも快く対応して下さい、たくさん

10/11 《田園方面～役場周辺》



どうして牛を飼っているんですか？

選挙権を持ったら選挙に行ってね！



はい！

雫石町議会の議場を見学する児童

のお話を教えてくださいました。雫石町役場では、普段見ることの出来ない「議場」を見せていただきました。町議会議員と役場の方たちが、雫石を良くするために話し合う場所だと教えていただきました。

子どもたちは、まち歩きで発見したお宝や、地域の方から聞かせていただいた話をもとに、「雫石ガイドマップ」にまとめていきます。

消防団 VS 6年生 バケツリレー消火競争

10月4日（火）御所小学校で避難訓練後、昨年に引き続き、地域の消防団によるポンプ車操法の見学会を行われました。平日にも関わらず、17名の消防団員や雫石分署の消防士、町の防災課が集まり、地域の安全を守る為に活動する姿を児童たちに披露しました。ポンプ車操法では、5名の団員がポンプ車からホースを伸ばし、火元を消火するまでの無駄のない美しい動きを実演しました。ホースの中を水が通り、生き物のように動く様子に低学年の児童から歓

声が上がりました。

今年の見どころは、消防団 vs 児童のバケツリレー競争です。消防団員7名と6年生の児童14名が、バケツのに入った水をリレーで運び、90ℓのポリバケツに入れて、中に入れたボールが溢れ出たほうが勝ちというルールです。スタート直後、消防団は無駄のない連携でリードしましたが、この日に備えて練習してきた6年生は後半一気に差を縮め、逆転勝利を収めました。

見学会後、各学年の代表が放水体験を行いました。3年生の照井七海さんは「消防団の動きがぴったりでかっこよかった！」5年生の村田梨央さんは「放水体験で、水がすごく重たくてびっくりしました」と感想を述べました。堀切校長先生は「消防団の方の動きをみて、普段みんながやっている、『前ならえ』や『気を付け』は役に立つことなんだと分かりました。将来皆さんも、消防団に入って頑張ってもらいたいと思います」と児童にエールを送りました。



スタートしました！



息の合った連携で消防団リード！



負けないぞー！



順調に水が溜まっています！



「最後はみんなで一気に行く作戦！」でまさかの大逆転！

いつ火災が起きるか分からないから日頃から訓練をしています。ゴールの後の始末を見てください。消防団員は最後まで気を抜かず動くことを意識して訓練しています



消防団の仕事へのプライドを示した雫石町消防団米澤副団長と第2分団



消防服を着て、放水体験する児童